広報 Ibaraki Public Information
いばらき
2025年（令和７年）
８月１日　発行
8
No.1134
August 2025

◆編集・発行
茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029－292－1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口
住民基本台帳
令和７年６月末現在
男　15,205人
女　15,126人
総人口　30,331人
世帯数　13,723世帯

◆茨城町民憲章
1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
1 隣人や家庭の愛を大切にして、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
1 自分の仕事に責任と誇りをもち、活気に満ちた町をつくりましょう。
1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

◆町の花　桜
◆町の木　梅
◆町の鳥　うぐいす

◆町の防災行政無線が聞き取れなかった場合
防災行政無線テレフォンサービス
☎０８００－８００－８８４８
（通話料無料）
町ホームページにも放送内容を掲載しています。

◆町の情報発信中!!
● 町公式ホームページ
https://www.town.ibaraki.lg.jp/
● 町公式Ｘ（旧ツイッター）
https://twitter.com/IbarakiTownMati/
● 町公式インスタグラム
https://www.instagram.com/townibaraki_official/
● 町公式ライン
https://page.line.me/?accountId=ibarakitown

里山に育む生きものたち

No.157　セモンジンガサハムシ（ハムシ科）

学名　*Cassida versicolor* Boheman

写真・文　小菅　次男

▼セモンジンガサハムシとは

コウチュウ目ハムシ科カメノコハムシ亜科の昆虫の一種です。

カメの甲羅を背負ったような姿からカメノコ、陣笠をかぶった武士の様に見えることからジンガサの名が付けられています。

透明な部分が屋根のひさしの様に張り出し、UFOを想起させる円盤状の外形をしています。透明な周囲は部分によっては金色に輝いています。とりわけ背中中央のX字型の模様が金色に輝き目立つのが特徴です。

体長5～6㎜程度の小さな虫で、本州以南の日本各地に見られ、国外ではシベリア東部、朝鮮半島、中国、台湾、及びインドシナ半島で見られています。

▼生態

成虫は5～9月に見られ、バラ科のサクラ、リンゴ、ナシなどの樹木に生息し、その葉を食べます。

産卵した卵はパラフィン状の分泌物で覆われ、米粒状の糞をつけています。

幼虫は全く変わった姿をしています。脱皮殻と糞塊を背負い、その下に扁平でトゲトゲの姿を隠しています。蛹になってもこれらをのせたままです。これは外敵から身を守るためと考えられます。

ジンガサハムシやカメノコハムシの仲間は葉にぴったりとくっついているハムシです。動かない時には脚は外側からは見えません。これはアリなどから身を守るためです。

本種とよく似たイチモンジカメノコハムシはよく間違えられます。イチモンジの体は8㎜前後と大きく、背中の金色のX字形の紋がなく、触角が黒いことなどで区別できます。

イチモンジカメノコハムシ

ジンガサハムシの仲間はそれぞれ好きな食草・食樹が違っているので、それで種類を見分けられます。例えばジンガサハムシの食草はヒルガオ、イチモンジカメノコハムシはムラサキシキブやヤブムラサキなどです。

▼利害

セモンジンガサハムシはリンゴを加害する害虫として知られており、別名をリンゴジンガサハムシとも言われます。茨城町ではリンゴよりは栽培の多いナシに注意が必要と思われます。葉を食べる被害は広く散発的に発生しますが、大きな被害を出すほどではないようです。

ちびっ子アート　ひぬま保育園

さくら組のみんな

「おまつりちょうちん」

再生紙を使用しています
PRINTED WITH SOY INK 環境に優しい大豆油インキを使用しています